

学校現場を取り巻く環境が複雑化・多様化し、学校に求められる役割が拡大する中、教員の長時間労働の現状が明らかになっています。



「将来を担う子どもたちによりよい教育を実践する」ため、愛媛県教育委員会及び各県立学校において、『まじめに』働き方改革に取り組んでいる様子をお伝えします。

ぜひご一読いただき、本県の学校における働き方改革につきまして、御理解、御協力を賜りますようお願いいたします。

## 1. 今月号のピックアップ

毎号、特徴的な取組、新たな取組等をピックアップしてお知らせしています。

今回は、令和7年12月から運用を開始する「県立学校入試出願システム」について、お知らせします。

## 県立学校入試出願システムの導入について

県教育委員会では、生徒・保護者の利便性向上と、教職員の負担軽減を図るため、これまで紙ベースで行っていた県立学校入試に係る一連の手続を WEB 上・システム上で完結できるよう、入試出願システムを導入することとしております。概要は以下のとおりです。

### <県立学校入試出願システム（概要）>

#### ① 運用開始時期

令和7年12月～

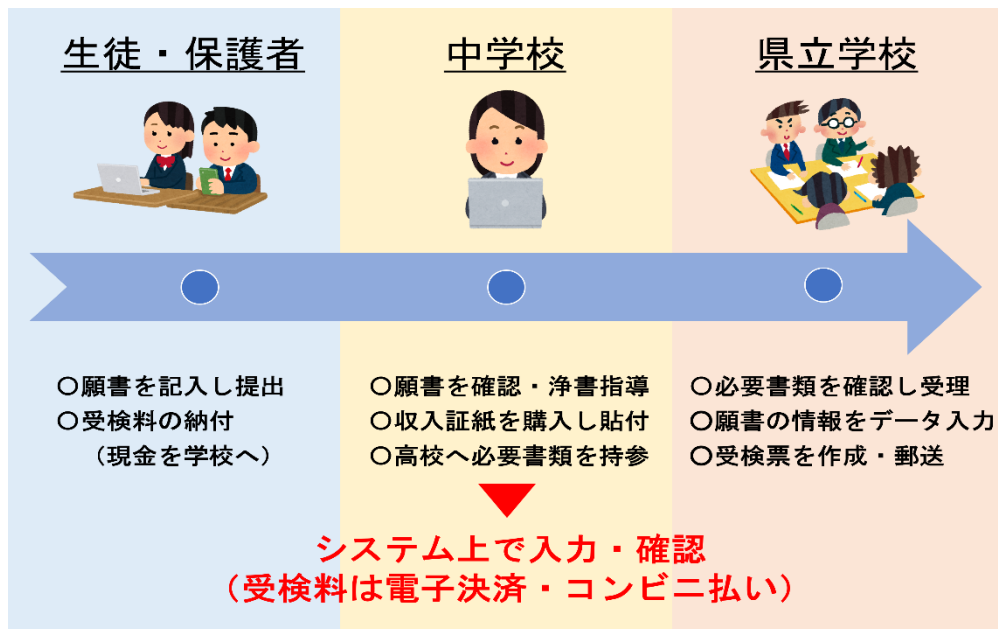
#### ② 対象入学者選抜

- ・ 県立高等学校特色入学者選抜
- ・ 県立高等学校一般入学者選抜
- ・ 県立特別支援学校高等部入学者選抜（松山盲学校除く）

#### ③ 特徴及び機能

本システムの導入により、以下の事務処理を電子化

- 生徒・保護者から中学校への願書の提出と受検料の納付
- 中学校での出願内容の確認や高校への必要書類の提出
- 高校での出願受理・データ入力や受検票の作成・郵送



#### ④ 導入による主なメリット

##### <生徒・保護者の利便性向上>

- 願書作成や中学校への提出がいつでも、どこからでもできる。
- 収入証紙で行っていた受検料の納付が、クレジットカードや2次元バーコードなどの電子決済やコンビニで支払いできる。
- 合格発表が、学校での掲示だけでなく、WEB上でも確認できる。

##### <教職員の負担軽減>

- 出願書類の県立学校への提出において、中学校の教職員による持参が不要になる。
- 出願書類の受付を行った県立学校で、願書の情報を取りまとめるデータ入力作業が不要になる。
- 受検料の納付方法の変更に伴い、現金の取扱いや願書への収入証紙の貼付作業がなくなる。

今後は、各学校にて試験的に模擬運用を実施し、出た課題について、システムを改善した後、入学者選抜実施要綱の改定を経て本格運用を開始することとしており、引き続き、生徒・保護者の皆様が安心して利用できるよう、入試出願システムの入念な検証を行い、デジタル化初年度の入試出願手続きが、着実に遂行できるよう進めていきます。

県教育委員会では、今後も学校の働き方改革に全力で取り組んでまいります。